

国史跡武蔵国府跡（国司館地区）第2期整備基本計画（案）に対するパブリックコメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

令和7年11月18日（火）から令和7年12月17日（水）まで

2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法（人数）					
		Eメール	電子申請	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
8人	13件	0人	6人	0人	0人	2人	0人

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方

	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	11	4 基本方針 / (2) 史跡を楽しく理解し学べるガイダンス施設の設置	歴史的に当該地は富士山への眺望を理由として選ばれてきた経緯があるため、富士山を眺めることが出来るよう整備をしてほしい。 (同意見1件)	当該地に国司館や徳川家康府中御殿が置かれた理由として、かつて富士山を望むことができ、万葉集に詠われた「多摩の横山」(多摩丘陵)が現在も望める地であることがあげられます。 そのため、ガイダンス施設からの眺望は、遺構の保護や建築等の諸条件を踏まえた上で、検討してまいります。
2	11	4 基本方針 / (2) 史跡を楽しく理解し学べるガイダンス施設の設置	国司館と比較して「家康御殿」に関する情報が少ないため、各地の徳川御殿を体系的に学べる展示を充実させてほしい。	当該地の国史跡の本質的価値は、古代武蔵国府の時代の「国司館」ですが、近世の「徳川家康府中御殿」も本市の歴史を象徴する重要な遺跡と考えております。 第2期整備の展示は、史跡としての価値を構成する国司館を中心としながらも、後の時代の重要な施設である家康御殿も含めて、訪れる方にその価値を理解していただけるよう検討してまいります。

3	1 1	4 基本方針 / (4) 周辺空間と一体で活用するための動線確保	<ul style="list-style-type: none"> ・競馬場から駅への動線は、当該地西側の歩道橋だけでなく、東側の府中街道の通行も想定すべきである。競馬場の来場者等の通り抜けを許容するスペースとするのか、落ち着いて休憩できるスペースとするのか方針を明確にしてほしい。 ・屋外から展望テラスや屋上へ直接アクセスできる、外階段があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画では、鉄道駅や幹線道路等に隣接する立地を活かし、様々な目的で周辺に訪れる方を本史跡にも訪れていただきたいという考えから「周辺空間と一体で活用するための動線確保」を基本方針として掲げています。 そのため、現在の北側及び東側道路の交差点部分の入口に加え、地形上可能な範囲で広場に至る動線を設けるものとして考えをお示ししています。 ・建物の詳細な形状につきましては、遺構の保護や建築条件等を踏まえつつ、来場者の方に利用していただきやすいよう検討してまいります。
4	1 1	4 基本方針 / (4) 周辺空間と一体で活用するための動線確保 / イ南側隣接の公開空地への動線	<ul style="list-style-type: none"> ・通路の開放時間及び管理主体を教えてください。 ・駅との接続、既存のフェンス等の構造物は、どのようになるか。 ・駅との接続における安全な高低差の解消、自転車での通行を考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南側に隣接する公開空地への動線は、既存の仮設通路を撤去して設けることとなります。そのため、管理主体や開放時間等については、現在の仮設通路の管理者と協議の上、検討してまいります。 ・駅との接続等については、西側の敷地及び構造物の所有者との協議、その他頂いたご意見等も踏まえ、今後の設計で詳細を検討してまいります。
5	1 3	5 土地利用方針 / (2) 導入機能等	雨天時にも利用できる、半屋外空間を整備すべきである。イベント時に駅舎側で雨宿りされる状況では、にぎわい創出につながりにくい。	新たに整備する施設には、駅からの直接的な動線が可能な屋外ゲート状の空間である「屋内広場」を設け、イベント開催時には屋根のある空間として活用を想定しています。

6	16	5 土地利用方針 / (5) 既存設備の改修等	<ul style="list-style-type: none"> ・VRコンテンツについて、小雨での使用が可能となるようにしてほしい。また、工事期間中はVRコンテンツが使用出来なくなるとのことだが、なるべく使用不可期間を短く出来るようにしてほしい。 ・復元模型と柱のスケールの視点が異なるため、両者を同一のものとして理解することが難しい。 ・復元模型の縮小、または同模型を写真等で紹介する方が、VR展示よりも分かりやすい。 	<p>本整備事業は、「当該地区の歴史的価値を高め、かつ駅前という立地をいかしたにぎわいと魅力ある空間を創出すること」を目的としています。そのため、これまでに頂いた様々なご意見や現状の課題等を踏まえ、より多くの方々が利用したいと思える施設となるよう整備を進めてまいります。</p> <p>一方、すでに整備済のエリアの既存設備であるVRコンテンツや復元模型については、現状を基本とした改修を行う予定ですが、維持管理を重視しながらも、より活用しやすいための視点を踏まえ検討してまいります。</p> <p>なお、工事期間中はコンテンツを含めた広場の使用はできませんが、広場に訪れることを楽しみとしている方々への影響を考慮しながら、安全面を踏まえ整備工事を進めてまいります。</p>
7	-	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本件について、近隣住民(地元自治会、近隣マンション管理組合、保育園等)の説明会を開催してほしい。(同意見4件) 	<p>第二期整備事業は、すでに、市民や有識者等で構成された検討協議会から頂いたご意見を踏まえ、平成26年3月に「国史跡武蔵国府跡保存管理計画」を策定し方向性を決定しました。その後、さらなる利用者や地域のご意見を伺うため、広場の活用に係る実証実験を行い、地域を含む様々な方のご意見を踏まえながら進めてまいりました。</p> <p>計画案単体での説明会は予定しておりませんが、今後の整備やその後の運用に当たっては、引き続き、近隣住民や利用者の方々への周知やご意見を伺いながら進めてまいります。なお、工事や管理・運営に関し影響が生じる際は、個別に関係者へご相談し調整を行ってまいります。</p>
8	-	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の際には、事前に工事予定期間、騒音のレベル等を説明してほしい。 	<p>工事の際には、近隣に対し事前周知をいたします。</p>